

日時：2015年8月5日（水）15：00～17：00

主 催：新生PIグループ

協 賛：株式会社マイツ

場所：新生PIグループセミナールーム（大手町フィナンシャルシティ サウスタワー16F）

● セミナー主旨 ●

アベノミクスの円安・ドル高基調により2015年3月期上場企業では最高益を更新する企業が続々と出ています。しかし、グローバル化を推進すべく直接輸出をしたが当該債権が回収できない、子会社を海外に設立したが経営状態が芳しくなく清算も視野に入れなければならない、という企業も散見されます。海外進出が最も多い中国では、新常態下の経済に移行し、どのような対策を取れば良いか頭を悩ませておられる企業様も多いのではないのでしょうか？新常態とは何か？その環境下での戦略とは？中国における事業戦略立案に役立てていただきたく、本セミナーを企画しました。

併せて、新生銀行執行役員国際企画室長より、中国現地での銀行業務経験を踏まえた金融機関の取組姿勢の傾向についてもご説明いたします。

● ご対象企業様 ●

中国に事業展開されている上場企業様

- ・ 変調する中国市場における事業戦略のポイントを押さえたい
- ・ 中国に進出しているが、生産コストを削減するため拠点を移したい
- ・ 中国から撤退したいが、会社の清算手続き・会計・税務・労務などに不安がある
- ・ 中国向け売掛債権の回収が長期化傾向にあり、与信管理の重要性が増している

● セミナー内容 ●

時間帯	内容	講師
15:00～15:05	セミナー趣旨のご説明	新生PIグループ
15:05～16:20 【75分】	◆ 中国における新常態の基本方針とは？ ◆ 新常態基本方針から見えて来る事業とは？ ◆ 新常態で勝ち抜く事業戦略とは？ ◆ 自社製品が市場で受け入れられる場合、受け入れられない場合の事業戦略とは？ ◆ 未回収債権、不振子会社のオフバランス化戦略とは？	マイツCEO 池田博義氏
16:20～16:35 【15分】	中国ビジネスに対する邦銀含む現地金融機関の取組姿勢について（対談形式）	マイツCEO 池田博義氏・ 新生銀行執行役員 国際企画室長 吉川貴志氏
16:35～17:00	質疑応答	
17:00～18:00	名刺交換・懇親会（希望者のみ）	

● 講師紹介 ●



池田 博義（いけだ ひろよし）氏

1971年 同志社大学経済学部卒業。
1975年 公認会計士資格取得と同時に池田公認会計士事務所、税理士池田博義事務所を開設。
1987年 株式会社マイツを設立し、代表取締役役に就任。
1993年 中国・上海に進出、翌年に上海代表処を開設。その後、中国沿岸部に事業所を展開し、現在は中国に10拠点350名のスタッフと1900社・アジアに3500社超の日系企業を抱える会計事務所系コンサルティング会社の最大手として成長を遂げた。
マイツグループCEO。税理士法人マイツ代表社員。

新常態下の中国で勝ち抜く事業戦略とは（参加費無料）

● お申込み・お問合せ ●

新生インベストメント&ファイナンス株式会社

TEL : 03-6860-9700

Mail : seminar@shinsei-if.com

担当：増田・木村

※参加ご希望の方は、8月3日（月）までに下記情報をメールにてお送りください。

- ・会社名
- ・部署名
- ・役職
- ・担当者名（参加者全員）
- ・TEL
- ・Email
- ・ご希望・ご質問等

〈個人情報の保護について〉 セミナーのお申込に際して、ご提供頂きました個人情報につきましては、本セミナー運営に関する事項以外に関連セミナー開催の案内に利用させて頂く場合がございます。

日時：2015年8月5日（水）15：00～17：00（受付 14:30～）

場所：新生PIグループ セミナールーム

千代田区大手町1-9-7 大手町フィナンシャルシティ サウスタワー16階

